

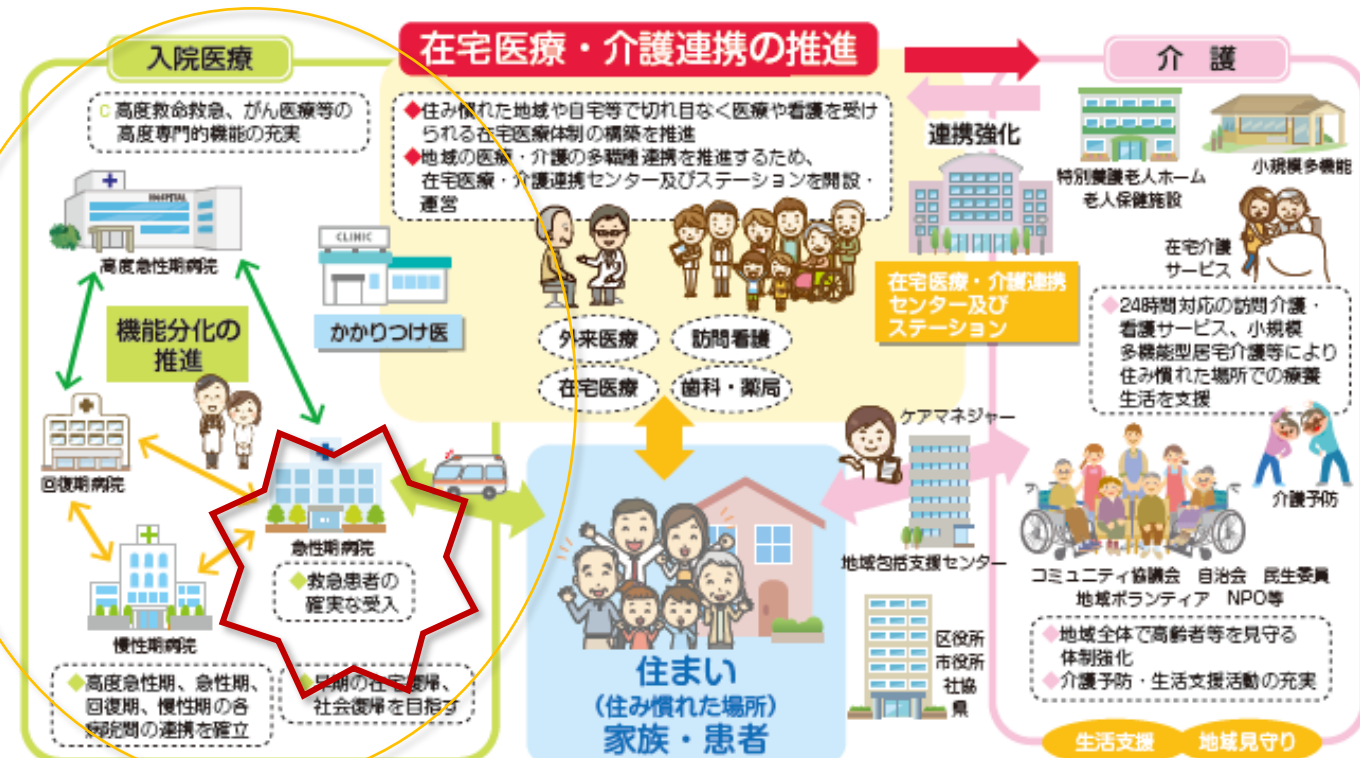
今号のポイント

病院ごとの役割と連携

生活の支えである医療現場は変わり続けています。
人口構造の変化にともない医療ニーズの変化や医師をはじめとした働き手不足など
様々な課題に向き合っています。
地域の医療提供体制を維持するためには、**各医療機関が役割分担し、連携のあり方**
を具体化していく必要があります。

1. 地域包括ケア計画や医療の機能分化をご存知ですか？

新潟市は急激な人口減少、少子・超高齢社会を迎えています。今後も高齢化が進む中、住み慣れた地域で、人や社会とつながり、健康で生きがいを持った生活ができることが望めます。
医療・介護・地域が連携し、支えあいの実現にむけ、新潟市は地域包括ケア計画を策定しています。



新潟市地域包括ケア計画 新潟市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 令和6年度～令和8年度

2. 新潟医療センターの役割について

当院は、新潟市のひっ迫した救急需要解消のため救急患者の受入れを拡充してきました。
約2年にわたり、機能の集約とともに、地域医療機関との連携を強化しています。
当院での急性期治療後は、地域の医療と連携することにより、必要な医療の継続や退院準備を安心して行えるようになります。

新潟医療センター入院機能の変化

- ▶ 2022年4月 9病棟 404床
救急外来を拡充し救急機能の強化
医療療養病棟 廃止 (2022年度)
回復期リハビリテーション病棟 緩和ケア病棟 廃止 (2023年度)
こばり園の老健から介護医療院への機能変換 (2024年度)
- ▶ 2025年4月 6病棟 265床
一般病棟 (5病棟 219床)
地域包括ケア病棟 (1病棟 46床)

地域連携の必要性！

治療→リハビリ→退院 終末期のケア等
新潟医療センターだけではできない
患者さんの入院前の経過や居住地、
治療やリハビリに必要な期間に応じた
地域の医療機関へのバトンタッチが必要



次号では、
院内向けに
フローチャート
を取り上げます

新潟医療センターは

急性期病院の役割を果たします。

そして地域完結の医療を目指します。

